

「産業社会と人間」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校
教諭 岡本 耕司

- 1.日時 平成 25 年 10 月 25 日（金）第 3 限 2.場所 1 年 7 組教室 3.学年 1 年 7 組（19 名）
- 4.生徒観 活発な生徒が多いが、グループ活動や発表となると、意見をまとめたり発表したりすることに課題がある。意見を言いやすい題材を通して発表力を身につけさせたい。
- 5.単元 将来の就職・進学先について
- 6.単元目標 2 年次からの各系列・コースの中の選択科目の目的や内容を理解させるとともに、普段の学習への取り組みを振り返りながら、適切な科目選択を考える。また、将来について考える機会にする。
- 7.本時の目標 社会人になるということは自立するということであり、自分本位ではなく他人に配慮することができて成り立つものであるということを理解する。
- 8.本時の創意工夫（5 観点について①～⑤）
 - ① これまでの学習の流れを確認するとともに本時の概要を板書する。
 - ② プロジェクタを利用し映像を提示する。
 - ③ 付箋を利用し意見交換を行う。
 - ④ 自分の経験を思い起こさせる。読み物資料を利用する。
 - ⑤ 授業開始・終了時の礼でけじめをつけ、身だしなみを正させる。
- 9.本時の展開

	学習内容	学習活動（生徒の活動）	・指導の留意点*支援 （教師の活動）	学習 形態	創意工夫 ①～⑤
導 入	・挨拶 ・本時の学習内容	・身だしなみを整える ・本時の学習内容を知る ・これまでの授業を振り返る	・学習の流れを板書する ・産社の授業の意義を改めて確認する	全体	⑤ ①
展 開	いやな店員、いやなお客さんはどんな人？			個人 グループ 全体	③④
	・意見交換	・書いた付箋を台紙に貼る	*机間指導により作業の状況を確認する		
	会話文を読んで考えよう。			個人	②④
	・考える（1）	・資料を読んで、他人の行動の誤りに気づく	*プロジェクタで示す *机間指導により作業の状況を確認する		
社会人になるって、どんなこと？			個人 全体	② ②	
・考える（2）	・ここまでの学習をもとに考える	・「自立」をキーワードに「自己管理」「経済的自立」に結びつける			
・知る	・企業から何を求められるかを知る	・「利益」のための「貢献」 ・それができると、また、高校生活を実りあるものにするための助言となるようにする			
ま と め	社会人になるために、今のうちにしておくことは？			個人	⑤
・本時の振り返り ・挨拶	・自分にできることを書き記す	・これからの生活につなげる			